

製品安全データシート

1. 化学製品および会社情報

【製品名】： Bonaリッチトーン

【製造者情報】： Bona AB

Box 210 74

SE-200 21 MALMO, SWEDEN

Tel: +46-(0)40-38 55 00

【輸入者情報】： 株式会社オカベ

〒939-1701 富山県南砺市遊部151-3

岡部 学

電話番号： 0763-55-6940 FAX番号： 0763-52-4038

【製品タイプ】： 液体

2. 危険有害性の要約

健康に対する有害性

有害性項目	分類結果	注意喚起語	危険有害性情報
皮膚刺激性／腐食性	区分2	警告	皮膚刺激性
眼損傷性／眼刺激性	区分1	危険	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性	区分1	危険	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を引き起こすおそれ
皮膚感作性	区分1	警告	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
特定標的臓器（単回暴露）（神経系、肝臓）	区分2	警告	臓器の障害のおそれ
特定標的臓器（反復暴露）（呼吸器、消化管、神経系、精巣、肝臓、腎臓）	区分2	警告	臓器の障害のおそれ
水生環境有害性（急性）	区分3		水生生物に有害

シンボル

警告



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

H315 皮膚刺激性

H317 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

H318 重篤な眼の損傷

H334 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

H371 臓器の障害のおそれ（肝臓、神経系）

H373 長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器、消化管、神経系、精巣、肝臓、腎臓）

H402 水生生物に有害

注意書き

[予防策]

- ・環境への放出を避けること。（P273）
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。（P270）
- ・取扱い後は、手をよく洗うこと。（P264）
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。（P272）
- ・粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入しないこと。（P260）

[対応]

- ・吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。（P304+P341）
- ・呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。（P342+P311）
- ・暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。（P309+P311）
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。（P314）
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。（P362）
- ・汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。（P363）
- ・皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。（P302+P352）
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。（P332+P313）
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。（P333+P313）
- ・直ちに医師に連絡すること。（P310）
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。（P305+P351+P338）
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。（P337+P313）

[保管]

- ・換気のよい場所で保管すること。涼しいところにおくこと。（P403+P235）
- ・施錠して保管すること。（P405）

[廃棄]

- ・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。（P501）

3. 組成及び成分情報

物質／製剤 : 製剤

構成成分	CAS番号	%	化学式	官報公示 整理番号 (化審法)	労働安全 衛生法	PRTR
2-アミノエタノール	141-43-5	1-5	C2-H7-N-O	2-301	○	第一種

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 直ちに医師の診察を受ける。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診察を受ける。水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。
- 皮膚に触れた場合 : 直ちに医師の診察を受ける。多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。
- 目に入った場合 : 直ちに医師の診察を受ける。すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。化学品による火傷はすみやかに医師による手当を受けなければならない。
- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切 : 火災に応じた消火剤を使用する。

不適切 : 認知済みのものは無し。

暴露による特定の危険有害性 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害危険性燃焼生成物 : 明確なデータは無い。

- 消防士用の特殊保護具 : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具 (SCBA)を装着しなければならない。欧州規格EN 469に適合した消防士用衣類 (ヘルメット、防護ブーツおよび手袋を含む) を着用することにより、化学的な事故に対する基本レベルの保護が提供される。

6. 漏出時の措置

- 個人保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護具を使用すること (セクション8を参照)。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染 (排水、水路、土壌または大気) を起したときは、関係する行政当局に報告する。
- 大量流出 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 少量流出 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 適切な個人保護具を使用すること (セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。
- 保管 : 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質 (セクション10を参照) および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 暴露限界 : 2-アミノエタノール JP JSOH I-1 OEL (日本、5/2009)
OEL-M : 3ppm 8時間
OEL-M : 7.5mg/m³ 8時間
- 推奨される測定方法 : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。
- 設備対策 : 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。
- 衛生措置 : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

個人保護

- 呼吸器系 : リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。
- 手 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
>8 時間 (破過時間) : ニトリル ゴム
- 眼 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミストあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。
- 皮膚 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
- 環境曝露管理 : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げのために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	:	液体
色	:	無色
臭い	:	無色
pH	:	11
溶解度	:	以下の物質に容易に溶解する：冷水および温水

10. 安定性及び反応性

安定性	:	製品は安定である。
避けるべき条件	:	明確なデータは無い。
回避すべき物質	:	明確なデータは無い。
危険有害な分解生成物	:	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

成分名	急性毒性					皮膚 腐食性/ 刺激性	目に対す る重篤な 損傷性/ 眼刺激性
	経口	経皮	吸入： ガス	吸入： 蒸気	吸入： 粉塵、 ミスト		
2-アミノエタノール	区分5	区分3	分類対象外	分類できない	分類できない	区分1A	区分1

成分名	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性
2-アミノエタノール	区分1	区分1	分類できない	分類できない	区分2

成分名	※特定標的臓器/ 全身毒性 (単回暴露)	※特定標的臓器/ 全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸器 有害性
2-アミノエタノール	区分1 (神経系、肝臓)	区分1 (呼吸器、消化管、神経系、 精巣、肝臓、腎臓)	分類できない

※特定標的臓器/全身毒性：区分1、2は1%以上、区分3は20%以上含有する場合に該当します。
(日塗工・自主基準)

※有害性情報は、化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。

急性毒性

製品/成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
2-アミノエタノール	眼-強刺激剤	ウサギ	250 μ g	—
	皮膚-中刺激剤	ウサギ	505mg	—

慢性毒性：データなし

発がん性：重大な作用や危険有害性は知られていない。

変異原性：重大な作用や危険有害性は知られていない。

催奇形性：重大な作用や危険有害性は知られていない。

生殖毒性：重大な作用や危険有害性は知られていない。

1 2. 環境影響情報

成分名	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）
2-アミノエタノール	区分2	分類できない

※有害性情報は、化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。

水中毒性

製品／成分の名称	テスト	結果	種類	暴露時間
2-アミノエタノール	EC50	80000 ug/L	藻類 - Isochrysis galbana	96時間
	LC50	>100000 ug/L	甲殻類 - Crangon crangon	48時間
	LC50	150mg/L	真水魚類 - Oncorhynchus mykiss - 卵 黄囊稚魚	96時間

その他の生態学的情報

残留性／分解性

データなし

生物濃縮の可能性

製品／成分の名称	LogPow	BCF	可能性
2-アミノエタノール	-1.31	—	低い

その他の悪影響 : 重大な危険有害性は知られていない。

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

1 4. 輸送上の注意

適用法令	国連番号	輸送固有名	クラス	PG*	ラベル	追加情報
IMDGクラス	—	—	—	—	—	—
IATAクラス	—	—	—	—	—	—

15. 適用法令

日本の管理法令

毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質管理促進法（P R T R法）	:	該当する 第一種指定化学物質 政令番号 第16号、第20号 2-アミノエタノール 1-5%
労働安全衛生法		
通知対象物質	:	該当する 2-アミノエタノール 1-5%
表示物質	:	該当しない
危険物	:	該当しない
有機溶剤中毒予防規則	:	該当しない
特定化学物質等障害予防規則	:	該当しない
消防法	:	該当しない
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	:	該当しない
航空法	:	該当しない
悪臭防止法	:	該当しない
水質汚濁防止法	:	該当しない

16. その他の情報

その他の特に注意すべき事項 : なし

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。